自治区長との懇談会報告

自治区長との懇談会参加状況

自治区名	参加人数
水沢区	277 人
江刺区	317 人
前沢区	44 人
胆沢区	61 人
衣川区	42 人
合　計	741 人

皆さんの声を市政に

～地区住民と自治区長が真剣討論～

市は、7月30日から8月23日まで市内30カ所で市政懇談会を行いました。今回の懇談会は各自治区の区長が皆さんが住んでいる最寄りの会場に出向き、地域ごとの身近な話題に耳を傾けました。延べ741人の市民が参加。市への期待・不安・要望など多くの意見が出されました。市は奥州市がより発展するよう、皆さんから寄せられた声を大切にしながら努力を重ねていきます。懇談会での意見・質問を紹介します。

水沢区報告
7月30日～8月9日
区内8会場で開催

意見・質問

■市民憲章の推進について

市民憲章（推進協議会）の設立総会はまだか。早く進めるべきではないか。

■市の回答

旧水沢市の市民憲章推進協議会も水沢まちづくり運動協議会と名称を変え、引き続き活動しています。その協議会から市に対して、奥州市の市民憲章推進協議会のような組織を作ってほしいと要望がありました。これについては、本庁の総合政策部で検討しています。市民憲章や生活改善について、各区で進め方が違うため、1つにすることは難しいところがありますが、せっかく作った市民憲章ですから、これを推進する組織を作って進めたいと考えています。

意見・質問

■行政への市民要望の方法について

行政に対する住民の声の反映ルートを確立してほしい。

■市の回答

基本的に地域からの要望は、さまざまな方法があります。請願・陳情という法的な方法のほか、地区振興会などを通じて行う要望があります。個人や団体からの意見・要望は「市長への手紙」や電話、文書など何でもいいです。1つの形に統一するということではなく、使い分けながら、実現の早い方法で要望してもらいたいと考えています。

意見・質問

■消防団員、組織について

消防団の団員から「入団する人がいないため、団員が少なくて困っている」と言われる。周りを見ても若い団員がいない。どこの地区でも、これから団員不足が生じるのではないかと感じるが、組織の再編などを考えていく必要があるのではないか。

■市の回答

団員募集の記事を出してもなかなか入る人がいません。やはり地元の団員から声を掛けてもらうのが1番いいと思いますが、どこの地区でも若い団員がいない現状です。消防団でも運営上、災害があった際は大変だということで、さまざまな点から検討しています。今後、機能別分団員の募集をします。消防団OBや消防署職員OBの協力を得ながら、日中の災害に備えるという方向で進んでいます。消防団は、平成21年度を目標に統合することになっていますが、支障がないよう現在の区の消防団・分団は残すことにしています。

意見・質問

■真城小学校の建設について

真城小学校の建設はいつから始まるのか。

■市の回答

当初の予定では来年度から4カ年で、校舎は平成22年度中に完成させたいという計画です。しかし、来年度から始めると、22年度の完成には時間的に無理があるということで、本年度に耐力度調査を実施するよう9月補正に要求している状況です。

意見・質問

■東バイパスについて

今後の東バイパスの工事予定をお尋ねする。

■市の回答

国土交通省の説明によりますと、東バイパスの国道343号までの設計は固まり、これから用地交渉・調査などが始まるようです。完成は5、6年先とのことです。その後に南に延びて来ますが、施工時期は、今は分からない状況です。

江刺区報告
7月31日～8月23日
区内10会場で開催

意見・質問

■悪臭対策について

東北油化の悪臭対策について、操業以来悪臭が絶えない状況であり、ことしの夏は特にひどい。周辺住民で健康被害も出ている。市はこのことについて状況把握しているのか。悪臭発生防止策、事業者への指導の現状、今後の指導と対応方針をお尋ねする。

■市の回答

原因の把握調査を行い、保健所の指導も受け、事業者に対して改善指導を行っています。

悪臭防止策として、保管庫へのシャッターの設置、機械の点検、社内の意識改革など改善策を示しました。今後は、臭気測定の実施など、事業者の取り組みを監視していきます。また、悪臭防止条例や公害防止協定を基本に、保健所の専門的な指導を受けながら悪臭防止に努めていきます。

意見・質問

■防災情報の伝達手段について

緊急情報の伝達について、旧江刺市で実施していた有線放送が廃止となり、緊急時の情報伝達手段に支障をきたしている。緊急情報などの周知方法と今後の情報伝達方法をどうしていくのか教えてほしい。

■市の回答

防災情報は有事に出動する消防団員などをはじめ、一刻をあらそうため重要なものです。現在の緊急情報伝達手段として、サイレン・奥州エフエム・わいわいテレビ・携帯メール・火災情報電話があります。現在市は、有効な情報伝達手段を検討しています。

江刺総合支所の西隣にある江刺消防署

意見・質問

■江刺消防署東分署の設置について

江刺消防署が区の西部に位置しており、緊急時に東部地区への対応の遅れが懸念される。東部分署の設置をお願いしたい。

■市の回答

地理的な事情などについては理解していますし、江刺東中と江刺南中学区の地域から要望も出ています。緊急時の出動態勢に万全を期すため、議会も含め、消防組合に検討を促していきたいと思っています。ただし、分署設置となると、財政状況や人員の確保などの課題があるため、現時点では難しい状況です。